

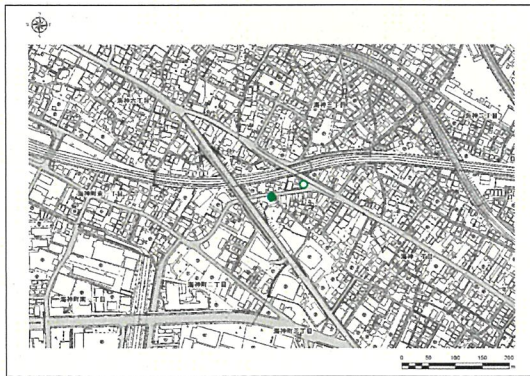
げんろく めい どうひょう 元禄七年銘 道標

元禄7（1694）年10月26日の銘がある、市内最古の道標です。もとは70mほど北東寄り、現在は陸橋下となっている三叉路に建てられていました。（所在地図参照）

道標正面の「右 いち川みち」は、この三叉路のある船橋市海神から、市川市八幡を経て同市市川へ至る道（佐倉道の一部）を示し、「左 行とくみち」は、船橋市山野町、市川市原木を経て同市本行徳へ至る道（行徳道）を示します。

佐倉道は、江戸から佐倉城下に達する道でした。その先が成田へと続いており、江戸中期頃から、成田参詣の隆盛と共に、成田道とも呼ばれるようになりました。

行徳は、日本橋と行徳を川で結ぶ「行徳船」の発着場でした。行徳と海神を結ぶ行徳道は、楽で早い船旅を好む成田参詣者で賑わいをみせた道でした。



所在地図
●・・・現在地 ○・・・元の位置

(後)	元禄 七歳十月廿六日	甲	海神村	(左)	是 より 行 と く	(前)	左 行 と く み ち	右 い ち 川 み ち	(右)	是 よ り い ち 川
-----	---------------	---	-----	-----	------------------------	-----	----------------------------	----------------------------	-----	----------------------------

銘文

船橋市教育委員会